

第8回大阪マスタース陸上競技大会に参加される全ての皆さんへ

特定非営利活動法人大阪マスタース陸上競技連盟

競技場の利用にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、次のことを守ってください。守っていただけないときは、参加を認めず、参加中であっても退場いただくことがあります。

- 受付時に、検温を受け、「健康状態申告兼体調管理チェックシート」を提出してください。
- チェックシートは、大阪マスタースのホームページからダウンロードしてください。
- 参加者が次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。
 - ・体調がよくない場合（例；発熱。咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方と濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないこと。
- 熱が高いと感じ、受付前に検温し、37.5℃以上あるときは、入場しないこと。
- 付き添い、介助者は最低限度とし、必ずマスクを着用し、手指を消毒すること。
- 受付では、前後の方と距離を保ち、目印の場所で順番を待つこと。
- マスクを持参してください。受付時、着替え時等の運動を行っていないとき、指導、会話をするときにはマスクを着用すること。
- 受付時に備え付けの手指消毒剤を使って一人ひとり手指を消毒した後に入場すること。
- 他の参加者、競技場のスタッフ等との距離を 2m以上確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 手洗い、手指の消毒、洗顔を欠かさず、ドアノブ、トイレ、用器具などの共用物に触れたときは、こまめに消毒、または手洗いをすること。
- 競技終了後は、手洗い（石鹸を泡立て 30 秒以上）、アルコール等による手指消毒を行うこと。
- 集団練習はせず、一人ひとりの間隔を 2m以上空ける工夫をしてください。
- 審判員の皆さんは、審判中、待機中、休息中にかかわらず、人と人との間隔を適切にとれるよう工夫してください。
- 競技中は、大きな声で会話をしたり、応援等をしったりしないこと。
- 感染防止のために、日本陸連『感染リスクを軽減させた競技会運営のチェックリスト』、大阪陸協が定めた感染予防マニュアルを守り、指示に従うこと。
- 感染が疑われる症状のある場合には、直ちに検温を実施し、医師の指導の下、感染管理措置に協力すること。
- 競技会終了後、2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、大阪マスタースに速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。そのため、他の人との濃厚接触状況、時刻等をメモしておくこと。